

令和3年 半田市立半田病院
患者サポートセンターからのお知らせ 4月号

新病院長挨拶

この度、半田市立半田病院長を拝命いたしました渡邊和彦でございます。

私は2000年4月に当院に赴任し、脳神経外科医師として診療に携わるほか、医療安全や地域連携、最近では新病院建設、常滑市民病院との経営統合に従事してまいりました。今回、このような職責を担うこととなり、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

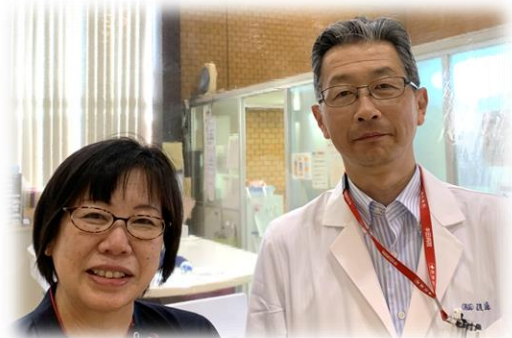
当院では昨年の秋にクラスターが発生し、外部有識者の指導のもと感染予防には十分気をつけ診療を続けてまいりましたが、今年3月、再び大規模なクラスターを引き起こしてしまいました。職員一人一人の感染対策が不十分であったことは否定できず、患者様、関係機関の皆様に深くお詫び申し上げます。

さて、直近の最大プロジェクトは、「新病院建設」と「地方独立行政法人化による常滑市民病院との統合」であります。2月には常滑市と2025年4月1日を統合目標とした協定書が締結され、全国初の隣り合う自治体による独立行政法人化した2つの病院統合が始まります。両病院で機能を分担し、効率的な診療を行うことが、地域住民の総合的な医療環境を守るうえで、いかに重要であるかが確認できました。

既に職員の人事交流を開始していますが、今後、さらに推進し統合時（新病院開院時）には「両病院で安全で信頼される医療」を提供できるよう取り組んでまいります。

2025年春には半田運動公園隣に、機能的で安全で快適な新病院が開院する予定です。是非、期待してお待ちいただきたいと存じます。

もちろん、当院と常滑市民病院のみで地域医療を支えることはできず、近隣の医療機関・介護施設等の皆様のお力添えが必要です。緊密に連携、協力していくことが何より重要であると認識しており、そのための仕組み作りにも注力してまいりますので、ご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



新患者サポートセンター室長挨拶

この度、患者サポートセンター室長を拝命いたしました吉田智里でございます。

平成30年4月より、「患者サポートセンター」として、地域連携の窓口となる「医療連携」、あらゆる相談に対応する「医療相談」、入院から退院までを支援する「入退院支援」の3つの部門が一体となり、患者さんを支援してまいりました。

医師、看護師だけでなく、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、事務スタッフなど多職種連携及び多職種協働により、患者さんへ包括的な支援が出来るよう取り組み、2020年度の医療相談実績については3,000人弱の相談対応を実施しました。

現在コロナ禍で世の中が、非日常的な状況が続いておりますが、顔の見える関係作りを大切に、患者さんのためスタッフ一同励んでまいりますので、これからも関係機関の皆様のあたたかいご支援、ご助言を心よりお願い申し上げます。

何かご不便、ご迷惑をお掛けすることがございましたら、いつでもご連絡いただければ幸いです。

4月から新しく赴任した医師を紹介いたします

診療科	退職医師	新任医師
消化器内科		岩田 有里波 (いわた ゆりは)
糖尿病・ 内分泌内科	高橋 ゆい 大竹 宏輝	水谷 圭吾 (みずたに けいご) 榊原 康喜 (さかきばら こうき)
腎臓内科	小宮 大基	加藤 彰寿 (かとう あきひさ)
循環器内科	成田 伸伍	近藤 俊 (こんどう しゅん) 野々川 大志 (ののかわ だいし)
外科	斉藤 大佑	竹内 健司 (たけうち けんじ) 長田 祥子 (おさだ あきこ)
泌尿器科	浅井 健太郎	宮田 裕大 (みやた ゆうだい)
脳神経外科	松野 宏樹	
整形外科	大高 圭司	
産婦人科	石田 時一 青井 好 角 政徳	永井 孝 (ながい たかし) 重山 宗久 (しげやま むねひさ) 前島 貴子 (まえじま たかこ)

MSW 紹介

今年4月より常滑市民病院 患者サポートセンターから出向してきました、松本 直己です。半年という短い間ですがよろしくお願ひいたします。まだ勝手がわからず、不安な思いもありますが、未熟なりに業務を全うできるよう精進してまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。地域医療連携がより充実するよう、全力で努力していきます！！



半田運河に聖火がやってきた

4月6日に東京2020オリンピックパラリンピックの聖火が、当院西の半田運河にやってきました。



2020年度の紹介率

紹介率：77.7%

逆紹介：114.1%

いつもありがとうございます！

【患者サポートセンターからのお知らせ】

バックナンバーは、半田病院のホームページから閲覧できます。

<http://handa-hosp.jp/department/patient-support/notice/>

